



# Gen4848-AES-CP

# コントロールパネル付き

# 48x48 AES/EBU

# コンパクトルーティングスイッチャ

# 取扱説明書

Ver 1.01







# はじめにお読みください

# ご使用上の注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。 お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

## 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。 内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を 負う可能性が想定される内容を表しています。



この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能 性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表 しています。



左の記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容が描かれています。



左の記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



左の記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容が描かれています。

万一、製品の不具合や停電などの外的要因で、映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。





▲ 警告

■ 万一異常が発生したらそのまま使用しない	
煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がする。	$\wedge$
このような時はすぐに電源を切り、電源ノラクをコンセントから扱いにめと、 本製品を設置した業者またはメーカに修理を依頼してください。	
■ お客様による修理はしない	
お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。	
个女になるが川に回かるい   ぐらついた会の上や傾いた所ため、不安定た場所に置かたいでください	$\wedge$
落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。	
■ 内部に異物を入れない	
通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、	
落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。	
万一内部に異物が人った場合は、ます本体の電源を切り、電源フラクをコンセントから抜いてください	
■ 本体フレーム等の天板等を外したり、改造をしない	
内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。	
機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。	
■ ご使用は正しい電源電圧で	
表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。	
火災・感電・故障の原因になります。	
■ 雪が鳴り出したら雲海プラグにけ触わかい	
ー 田がっつつにつ电振くノノノには方式1にない 火災・感雷の原因になります。	
■ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む	$\wedge$
ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。	
■ 電源ケーブルを傷つけない	
電源ケーブルを加工しない。無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。	$\wedge$
電源ケーノルの上に機奋本体や里いものを載せない。 雲酒ケーブルを執器目に近づけない。 小災・感感の原因となります	
■ 機器の上に水や薬品等が入った容器を置かない	
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。	
■ 機器の上に小さな金属物を置かない	
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを本体	
かり扱いしくにさい。 火災・感電・故障の原因となります。	





注意

#### ■ 電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らずに必ずプラグをもって 抜いてください。 ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。

#### ■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。

■ 次のような場所には置かない

火災・感電の原因となります。 湿気やほこりの多いところ、直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど 高温になるところ、油煙や湯気の当たるところ、水滴の発生しやすいところ。

#### ■ 通風孔をふさがない

本体には内部の温度上昇を防ぐための通風孔が開けてありますので、次の ような使い方はしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。 あお向け、横倒、逆さまにする。風通しの悪い狭い場所に押し込む。

## ■ 重いものを載せない

機器の上に重いものや本体からはみ出る大きなものを置かないでください。 バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となります。

#### ■ 機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

本体の電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。 指定以外のケーブルを使用したり延長したりすると発熱し、火災・やけどの 原因となります。

## ■ 長時間使用しないときは電源プラグを抜く

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 火災の原因となることがあります。

# ■ お手入れをする時は電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電の原因となることがあります。

仕様および外観は改良のため、予告無く変更することがあります。 本機を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。 海外仕様、DC入力仕様については弊社営業までお問い合わせ下さい。





# 目 次

表紙	1
はじめにお読みください	2
目次	5
1. 概要	8
2. 構成	8
3. 機能	8
4. ブロック図	9
5. 操作説明	10
5-1. 電源の投入と切断	10
5-2. 各部の名称	10
5 – 2 – 1. フロントパネル	10
5 - 2 - 2. リアパネル	13
6. 据付方法	14
6-1. ラックへの取付方法	14
6-2. 接続	14
6-2-1. 電源ケーブルの接続	14
6 – 2 – 2 . AES/EBU 機器との接続	14
6 – 2 – 3. リファレンス信号の接続	14
6 - 2 - 4 . GPIO 信号の接続	14
6 – 2 – 5. コントロールパネルの追加接続	14
6 – 2 – 6 . SNMP 監視装置との接続	14
7. DualJog のメニュー操作	15
7-1. メニュー操作	15
7-2. メニュー一覧1	15
7 – 2 – 1. CONTROL PANEL/MODEL	16
7 – 2 – 2 . CONTROL PANEL/ALIAS	16
7 – 2 – 3 . CONTROL PANEL/FW VER	16
7 – 2 – 4 . CONTROL PANEL/MAC ADDRESS	16
7 – 2 – 5 . CONTROL PANEL/IP ADDRESS	16
7 – 2 – 6 . CONTROL PANEL/NETMASK	16
7 – 2 – 7 . CONTROL PANEL/GATEWAY	16
7 – 2 – 8. CONTROL PANEL/BRIGHTNESS	16
7 – 2 – 9 . CONTROL PANEL/AUTO OFF	16
7 – 2 – 1 0. INITIALIZATION/CP INIT	16
7 – 2 – 1 1. USB	16
7 – 2 – 1 2. EDIT CONNECTION /SEARCH	17

# RoHS



7 – 2 – 1 3. SAVE
7 – 2 – 1 4. ROUTER1/ROUTER SETTING/IP ADDRESS
7 – 2 – 1 5. ROUTER1/ROUTER SETTING/ROUTER ID
7 – 2 – 1 6 . ROUTER1/ROUTER SETTING/MODEL NAME
7 – 2 – 1 7. ROUTER1/ROUTER SETTING/AES IN NUM17
7 – 2 – 1 8. ROUTER1/ROUTER SETTING/AES OUT NUM17
8. WEB による各種設定18
8-1. システム要件
8 - 1 - 1. 対応ブラウザー
8 – 1 – 2. ネットワーク環境18
8-2. 起動
8 – 3. Gen4848-AESの設定19
8 – 3 – 1. Gen4848-AES:入力ステータスタブ20
8 – 3 – 2. Gen4848-AES:クロスポイントタブ21
8 – 3 – 3. Gen4848-AES:一般タブ22
8-3-4. Gen4848-AES:一般タブ:ルーター名称22
8 – 3 – 5. Gen4848-AES:一般タブ:ルーターID22
8-3-6. Gen4848-AES:一般タブ:サンプリング周波数22
8 – 3 – 7. Gen4848-AES:一般タブ:切替モード22
8 – 3 – 8. Gen4848-AES : ラベルタブ23
8 – 3 – 9 . Gen4848-AES : ラベルタグ : Source Labels
8 – 3 – 1 0 . Gen4848-AES : ラベルタグ : Destination Labels
8 — 3 — 1 1 . Gen4848-AES:ラベルタグ:Source Label Abbreviations
8 — 3 — 1 2 . Gen4848-AES:ラベルタグ:Destination Label Abbreviations
8 – 3 – 1 3. Gen4848-AES: インヒビットタブ25
8 – 3 – 1 4 . Gen4848-AES : サルボタブ27
8 – 3 – 1 5. Gen4848-AES : レート変換
8 – 3 – 1 6. Gen4848-AES: 製品情報タブ29
8 – 3 – 1 7. Gen4848-AES: 製品情報タブ: 製品名29
8-3-18. Gen4848-AES:製品情報タブ:シリアル番号29
8 – 3 – 1 9. Gen4848-AES: 製品情報タブ: バージョン ハードウェア
8 – 3 – 2 0. Gen4848-AES: 製品情報タブ: バージョン ファームウェア
8 – 4 . DualJog の設定
8-4-1. DualJog:一般タブ:コントロールパネル名称
8 – 4 – 2. DualJog:一般タブ:テイクモード30
8 – 4 – 3 . DualJog : 接続先タブ31
8 – 4 – 4. DualJog:接続先タブ:プロトコル31
8 – 4 – 5. DualJog:接続先タグ:インヒビット32
8 – 4 – 6. DualJog:ボタンタブ32
8 – 4 – 7 . DualJog : ボタンタグ : A1~A433





8 – 4 – 8. DualJog:ボタンタグ: F1~F6	34
8-5. ルーター/コントロールのネットワーク設定	35
8 – 5 – 1. ルーターのネットワーク変更	36
8-5-2. コントロールパネルのネットワーク変更	37
8 – 5 – 3. NTPの設定	38
9. コネクタ ピンアサイン表	10
9-1. GPIO1/RS-232C コネクタ(16)	10
9-2. GPIO2 コネクタ(17)	10
10. 定格および電気的特性	11
11. 外観図	12
12. お問い合わせ	12





#### 1. 概要

●Gen4848-AES-CPはAES/EBU信号に対応した48入力48出力のコントロールパネル付きコンパクトルーティングスイッチャで、

Gen4848-AESと取り外し可能なDualJogコントロールパネルで構成されます。

- ●ルータ本体は前面からホットスワップ可能な2重化電源を搭載しています。
- EIA-4RU の 19 インチラックマウントサイズです。
- ●欧州 RoHS 指令に適合しております。

#### 2. 構成

Gen4848-AES-CP は本体と付属品で構成されています。

下記の表の通り揃っていることを確認してください。

品名	型名	数量	備考
コントロールパネル付き 4848 AES/EBU コンパクトルーティングスイッチャ	Gen4848-AES-CP (Gen4848-AES+DualJog)	1	本体
電源ケーブル		2	
ブランクパネル		1	
取扱説明書		1	本書
検査合格証		1	

#### 3. 機能

・リファレンス入力を装備し、入力信号がREFに同期していればロックが外れることなく切り替えが可能

(サンプリング周波数が異なる信号を切り替える場合はロックが外れます。プレーンモデルは信号線を切り替える方式のため、切り替え時にロックが外れます。)

・コントロールパネルは着脱式で、本体に収納して使用することも、分離して使用することも可能

・サルボ機能、テイク機能、クロスポイントインヒビット機能、ソース/デスティネーションインヒビット機能、デスティネーションロック機能、パネルロック機能を搭載

・16chサンプルレートコンバータ機能、オシレータ機能を搭載

・Webサーバを内蔵し、ブラウザによる設定・制御(\*1)・ステータス表示(\*1)が可能

・4つのEthernetポート(PoE給電機能内蔵ポートx3,通常ポートx1)を装備し、PoEでコントロールパネルへの給電が可能。

・1台の本体に最大16台のコントロールパネル(TCP/IP接続)を接続することが可能

・SNMPによるリモート監視・制御に対応 \*1

・ラストメモリ機能を搭載

・プログラマブルなGPI/GPO機能を搭載

・他社製コントロールパネルとの接続用にRS-232Cポートを標準装備 \*1

・完全フロントメンテンナンス方式のリダンダント電源を装備 (AC90~240V 50/60Hz)

\*1:本バージョンでは未対応





## 4.ブロック図







#### 5. 操作説明

RoHS

5-1. 電源の投入と切断

電源スイッチはフロントの左右電源モジュールに配置されています。電源スイッチ(3)を ON 側にすると電源が入り、電源スイッチを OFF 側 にすると電源が切れます。

#### 5-2. 各部の名称



(1) Gen4848-AES

ルーター本体の Gen4848-AES です。

(2) DualJog

取り外し可能なコントロールパネル DualJog です。

- (3) 電源スイッチ
- (4) POW/FAN/ALM LED

Gen4848-AESの電源 LED、FAN LED、ALM LED で、電源 LED は、正常時 緑点灯、故障又は電源未投入時 赤点灯します。 FAN LED は、正常回転時 消灯、故障時 赤点灯します。ALM LED は、正常時 消灯、設定された内部アラーム(内部温度異常等)時 赤点灯します。

(5) 止めねじ

DualJogをGen4848-AESに固定するための止めねじです。DualJogを取り外して使用する場合は、この止めねじを外してください。

(6) POW/ALM LED

Gen4848-AESのPOW/ALM LED と連動し、本体の FAN LED 点灯時は、ALM LED が赤点灯します。

(7) ジョグダイヤル

ソース、デスティネーション、メニュー操作を行うジョグダイヤルです。通常モードでは、右側のジョグダイヤルでデスティネーションを選択し、左 側のジョグダイヤルを回してソースを選択し、左ジョグダイヤルを押すことによりソースが決定されます。またテイクモードでテイク待ちのクロス ポイント切替コマンドを右ジョグダイヤルで選択し、右ジョグダイヤルを押すことにより、登録したクロスポイント切替コマンドをキャンセルするこ とができます。





(8) LCD

通常モードでは表示モードに従い、様々な情報を表示します。5 種類の表示モードがあります。

表示モード1



パネルロック状態では、LOCK 表示され、通常状態では何も表示されません。テイクモードがオンの時は TAKE 表示され、テイクモードがオ フの時は何も表示されません。リファレンスが正常に入力されている時は、REF 表示され、入力されていない又は認識できない信号であっ た場合には何も表示されません。時刻同期モードは、設定により、ネットワーク・タイム・プロトコル(NTP)か、指定したソースのアンシラリ ィータイムコード(ATC)に同期します。

表示モード2



表示モード 2 では、テイクモードがオンの時に、実行待ちのクロスポイント切替コマンドを表示します。(SRC:DST表示)現在選択しているデスティネーションが青表示となります。この状態で右ジョグダイヤルを押すと、01:02のコマンドのみキャンセルされます。 表示モード 3



表示モード3では、全てのクロスポイント設定状態(SRC:DST)を表示します。ソースピークメータが表示されている領域には設定によ





NTF

りデスティネーションピークメータを出力することもできます。

表示モード4

# 15:49:56 2020-12-25 Fri

デジタル時計表示モードです。

表示モード 5

[CONTROLLER]	DualJog	[ROUTER]	Gen4848-AES
IP	192.168.1.93	IP	192.168.1.81
FIRMWARE	0.6.9	FIRMWARE	0.6.6
		HARDWARE	0.10.6
		Permit Preview	0

Gen4848-AES および DualJog のプログラムバージョン情報と IP アドレスを表示するモードです。

(9) ボタン A

4 色点灯するボタンです。WEB アクセスにより、ボタンに任意の機能を割り当てることができます。出荷時設定は、左側 2 個はボタン割り 当てなし、右上が CLEAR、右下が TAKE に設定されています。割り当てることにできる機能は DulJog:ボタンタブを参照してください。

(10) ファンクションボタン

1 色点灯するボタンです。WEB アクセスにより、ボタンに任意の機能を割り当てることができます。出荷時設定は、F1=パネルロック、 F2=テイクモード、F3=ページアップ、F4=カレントデスティネーションロック(ロックオール)、F5=表示モード切替、F6=割り当てなしです。 割り当てることにできる機能は DulJog:ボタンタブを参照してください。

(11) MT-LAN

メンテナンス用の LAN ポートです。 CP-LAN に接続されています。

(12) USB

各種設定の書き込み又は読み込みを行うことができます。







\*2: MG-LAN と CP-LAN は同じサブネットに接続しないでください。接続する場合は、 CP-LAN のみを使用してください。





#### 6. 据付方法



ご使用のフレームの電源がオフであることを確認してから作業を行ってください。 電源がオ フでないと機器間のGND電位差による感電、機器の損傷等の可能性があります。 ま た、静電気等により機器が損傷等する可能性がありますので、静電対策を行ってから作 業を行ってください。

6-1. ラックへの取付方法

本機を EIA 規格のラックに取り付ける場合は、本体前面の両サイドにあるラックマウント取り付け穴(左右に各 2 個)を利用し、M5 の ネジを使用して取り付けます。

6-2. 接続

6 – 2 – 1. 電源ケーブルの接続 付属品の抜け止め防止機能付き電源ケーブルのメス側を電源コネクタ(20)に接続します。 電源ケーブルのオス側は AC コンセントに挿入して下さい。

設置場所の AC コンセントが3極でない場合は、市販のプラグアダプタを使用していただき、必ずプラグアダプタのアース線を施設のアース 端子に接続してください。

6-2-2. AES/EBU 機器との接続

ソース AES/EBU 入力コネクタ(13)と信号源となる機器の AES/EBU 出力、デスティネーション AES/EBU 出力コネクタ(14)と後段に 置かれる機器の AES/EBU 入力を、それぞれ BNC ケーブルで接続します。

6-2-3.リファレンス信号の接続

リファレンス信号をリファレンス入力コネクタ(15)に BNC ケーブルで接続します。

6-2-4. GPIO 信号の接続

GPI 制御、タリー出力、RS-232C 制御をする場合は、用途によりGPIO1/RS-232Cコネクタ(16)、GPIO2コネクタ(17)と対象機器 を DSUB ケーブルで接続します。

6-2-5. コントロールパネルの追加接続

コントロールパネルを 1 台追加する場合は、CP-LAN1 コネクタ(18)に直接 LAN ケーブルで接続し、2 台以上接続する場合は、PoE 給電機能の付いたイーサネットスイッチを CP-LAN1 コネクタ(18)に接続し、イーサネットスイッチに追加するコントロールパネルを接続します。

6-2-6. SNMP 監視装置との接続

SNMP 監視装置または、WEB 接続用 PC を接続するときは、MG-LAN コネクタ(19)に LAN ケーブルで接続します。

(注) MG-LAN と CP-LAN は同じサブネットに接続しないでください。接続する場合は、 CP-LAN のみを使用してください。





## 7. DualJog のメニュー操作

通常表示状態で CLEAR(A3)、TAKE(A4),F1 ボタンを同時に押すことにより、メニューモードに入り、LCD にメニューが表示されます。メ ニューのトップ階層で CLEAR(A3)ボタンを押すことにより通常モードに戻ります。メニューモードでは DualJog 自身の設定および接続先の ルータの設定を変更することができます。

## 7-1. メニュー操作

#### メニューモードでは以下のボタンアサインでメニューを操作します。

ボタン	操作内容
TAKE(A4)	選択/決定
CLEAR(A3)	キャンセル/1つ上の階層に移動
F1	メニューの左移動
F4	メニューの右移動
F2	メニューの上移動
F3	メニューの下移動
右側ジョグダイヤル	メニューの左右移動
左側ジョグダイヤル	メニューの上下移動

F1~F4 ボタンは長押しでカーソル早送りができます。





7 - 2 - 1. CONTROL PANEL/MODEL
 モデル名を表示します。本製品では、DualJog と表示されます。

7 - 2 - 2. CONTROL PANEL/ALIAS
 設定されている別名を表示します。初期設定は、DualJog と設定されています。

7-2-3. CONTROL PANEL/FW VER ファームウェア・バージョンを表示します。

7 – 2 – 4 . CONTROL PANEL/MAC ADDRESS MAC アドレスを表示します。

7-2-5. CONTROL PANEL/IP ADDRESS IP アドレスの設定をします。初期設定は、192.168.0.40 です。左右ボタンでアドレスを移動し、上下ボタンで数字をアップ、ダウンして設 定します。

7 – 2 – 6. CONTROL PANEL/NETMASK ネットマスクの設定をします。初期設定は、255.255.255.0 です。

7 - 2 - 7. CONTROL PANEL/GATEWAY ゲートウェイの設定をします。初期設定は、192.168.0.100 です。

7-2-8. CONTROL PANEL/BRIGHTNESSLCD 輝度の設定をします。1(暗い)~7(明るい)が設定でき、初期設定は4です。

7-2-9. CONTROL PANEL/AUTO OFF 自動 LCD 表示オフの設定をします。0分(オフしない)〜120分が設定でき、初期設定は0分です。

7 - 2 - 1 0. INITIALIZATION/CP INITコントロールパネルの設定を初期化します。

7 – 2 – 1 1. USB

設定ファイルの読み込み・書き込みを行うことができます。 BACKUP TO USB : コントロールパネルから USB への読み込み UPDATE FROM USB : USB からコントロールパネルへの書き込み

USB 直下のディレクトリに設定ファイルが入っていない場合、UPDATE FROM USB はできません。また、USB が接続されていないときは リロードするか否かの画面が表示されます。読み込み/書き込みする場合 USB を差し、リロード画面で YES を選択するか、または再度 USB メニュー画面に入ってください。USB のアンマウントは読み込み後、書き込み後、USB メニューからぬけるときに行われます。USB メニ ューの中にいるときは、USB を抜かないでください。





7 – 2 – 1 2. EDIT CONNECTION /SEARCH

CP-LAN に接続された、ルータおよびコントロールパネルを検索し表示します。サーチを選択すると検索後、台数表示画面に移ります。さら にルータ・コントロールパネル・新規ルータを選択すると詳細結果画面に移ります。詳細結果画面から、新規ルータの登録や登録済みルー タの削除ができます。変更後、サーチメニューからぬけるときに保存するか否か選択してください。新規登録の際、ルータ ID やルータ IP アド レスが同一のものを登録すると誤動作しますので、その場合は WEB による再設定を行ってください。

7 – 2 – 1 3. SAVE

メニューモードで変更した内容を YES(セーブする)、NO(セーブせずに変更した内容を破棄)、CANCEL(セーブせずに変更した内容 は保持)から選択します。

7-2-14. ROUTER1/ROUTER SETTING/IP ADDRESS ルータの IP アドレスを表示します。

7 – 2 – 1 5. ROUTER1/ROUTER SETTING/ROUTER ID ルータのルータ識別用 ID を表示します。

7-2-16. ROUTER1/ROUTER SETTING/MODEL NAME ルータのモデル名を表示します。

7-2-17. ROUTER1/ROUTER SETTING/AES IN NUM ルータの AES/EBU 入力数を表示します。

7-2-18. ROUTER1/ROUTER SETTING/AES OUT NUM ルータの AES/EBU 出力数を表示します。





#### 8. WEB による各種設定

8-1.システム要件

```
8-1-1. 対応ブラウザー
```

Google 社製「Google Chrome」に対応しております。今後「FireFox」、「Edge」に対応予定です。

8-1-2. ネットワーク環境

MG-LAN または、MG-LAN に接続されたルーターにブラウザー(Google Chrome)が動作する PC を接続します。

#### 8-2. 起動

Google ChromeでIPアドレスを入力して、Genに接続します。Gen4848-AES-CPのIPアドレス出荷時設定は、"192.168.1.30" です。



gen\_web\_control 起動方法

Gen に接続すると、CP-LAN に接続しているルータとコントロールパネルの一覧が表示されます。



接続機器一覧

- (1) ルータ本体: Gen4848-AES
- (2) コントロールパネル:DualJog

各々をクリックすると、クリックした装置の設定画面に遷移します。





#### 8-3. Gen4848-AESの設定

Gen4848-AES をクリックするとステータスタブが表示されます。



Gen4848-AES トップページ(Gen4848-AES ステータスタブ画面)

(1)の部分に設定項目ごとのタブが表示され、タブを選択することにより各種設定を行います。

ステータスタブでは、電源 A,B、ファンの状態を表示します。電源ステータスは、12V 出力が正常(OK)であるか異常(NG)であるかと、実際の出力電圧値を表示します。ファンステータスは、ファンが正常(OK)であるか異常(NG)であるかと、実際のファン回転数を表示します。





#### 8-3-1. Gen4848-AES:入力ステータスタブ

リファレンス入力、ソース入力の状態を表示します。リファレンス入力は BB/TriSync 入力時は、ビデオフォーマットを表示し、DARS 入力 時はDARSサンプリング周波数を表示します。それぞれ、信号にロックした場合はLock、ロックできなかったときはUnlockと表示されます。 ソース入力は、サンプリング周波数と、AES/EBU 信号の Lock/Unlock 状態を表示します。

= <b>9</b> er	n			Х́А
	<b>ステータス</b> 入力ステータス	クロスポイント 一般 · -	ラベル インヒビット サルボ	
	入力 Pafaranaa	フォーマット	PLLステータス	
	Kelelelice	323133		
	gen4848-AES-layer1			
	Source1	48kHz	Lock	
	Source2	48kHz	Lock	
	Source3	48kHz	Lock	
	Source4		Unlock	
	Source5		Unlock	

入力ステータスタブ画面





#### 8-3-2. Gen4848-AES:クロスポイントタブ

現在のクロスポイントの選択状態が表示されます。上下、左右のスクロールバーを動かすことにより、デスティネーション 1~48 の設定を確認できます。



#### クロスポイントタブ画面



クロスポイントタブ画面後半





#### 8 – 3 – 3 . Gen4848-AES:一般タブ

一般タブをクリックすると、以下のタブが表示されます。

= <b>9</b> en			沟
	ステータス 入力ステータス グ <b>分</b> 保存	クロスポイント 一般 ラベル インヒビット サルボ l  (X取り消し	
	ルーター名称	Gen4848-AES-1	
	ルーターID	<u> </u>	
	サンプリング周波数	48kHz 🗸	
	切替モード	<u>同期モ−ド</u>	

一般タブ画面

8 – 3 – 4 . Gen4848-AES:一般タブ : ルーター名称

ルータ名称が設定できます。初期設定値は、ルーターモデル名になっています。

8-3-5. Gen4848-AES:一般タブ:ルーターID

ルーターの ID を設定します。Gen システムでのルーターID は、ルータの識別子として使用されますので、同じネットワーク内では、重複しな い ID を設定します。設定できる ID は 0~5 で、初期設定は 0 です。設定変更後、保存ボタンをクリックすることにより、ルーターに設定が 保存されます。

8 – 3 – 6. Gen4848-AES:一般タブ:サンプリング周波数

同期モードでのサンプリング周波数を設定します。設定できるサンプリング周波数は48kHz,96kHzです。リファレンスがDARSの場合は、出力サンプリング周波数はDARSと同じ周波数になりますが、60kHz以下では48kHzに、60kHzを越える場合は96kHzに設定してください。

8-3-7. Gen4848-AES:一般タブ: 切替モード

切替モードとして、同期モードか非同期モードを選択します。非同期モードでは、入力された信号を単純に切り替えるだけですので切り替え時に AES/EBU 信号は不連続となり、ノイズが出力されます。同期モードでは、全ての入力をデコードし、クロスポイント切替時に、フェードアウト処理 を行い、無音になった状態で信号を切り替え、フェードイン処理を行います。このため、切り替え時ノイズが発生しません。同期モードではすべて の入力がリファレンス信号に同期している必要がありますが、レート変換回路が16回路搭載されていますので非同期信号はレート変換回路を 有効にすることで同期化することができます。レート変換の設定についてはレート変換タブを参照してください。





#### 8 – 3 – 8 . Gen4848-AES : ラベルタブ

ラベルタブをクリックすると、以下のタブが表示されます。

ステータス 入力ステータス クロスポイント 一般 <u>ラペル</u> インヒビット サルボ L ◆ gen4848-AES-layer1	= <b>9</b> en			Х <sub>А</sub>
		ステータス 入力ステータス クロスポイント ② gen4848-AES-layer1 ④ 保存 - Source Labels - Destination Labels - Source Label Abbreviations - Destination Label Abbreviations	一般 ラベル インビビット	ザル赤 I

Gen4848-AES ラベルタブ

8 – 3 – 9 . Gen4848-AES : ラベルタグ : Source Labels

Source Labels をクリックするとソースラベル名の設定画面が表示されます。

= <b>9</b> en							ネ
	ステータス	入力ステータス	クロスポイント	一般	インヒビット	サルボ し	
	S gen484	48-AES-layer1					
	✔ 保存	e Labels					
	S	ource1			Source01		
	s	ource2			Source02		
	S	ource3			Source03		
	Sc	ource4			Source04		
	Sc	ource5			Source05		
	S	ource6			Source06		
	s	ource7			Source07		
	s	ource8			Source08		
	s	ource9			Source09		
	Sc	ource10			Source10		

#### ソースラベル設定画面

ここで、設定したラベル名は、DualJogの詳細ラベル表示モードで使用されます。使用できる文字は半角英数字のみです。設定変更後、保存ボタンをクリックすることにより、ルーターに設定が保存されます。





8 – 3 – 1 0. Gen4848-AES : ラベルタグ : Destination Labels

Destination Labels をクリックするとデスティネーションラベル名の設定画面が表示されます。

≡ 9en		Â
	ステーダス 入力ステータス クロスボイント 一般 ラベル インヒビット サルボ レ	
	중 gen4848-AES-layer1	
	Source Labels     Destination Labels	
	Destination1 Destination01	
	Destination2	
	Destination3 Destination03	
	Destination4	
	Destination5 Destination05	
	Destination6	
	Destination7 Destination07	
	Destination® Destination08	
	Destination9 Destination09	
	Destination10 Destination10	

デスティネーションラベル設定画面

ここで、設定したラベル名は、DualJogの詳細ラベル表示モードで使用されます。使用できる文字は半角英数字のみです。設定変更後、保存ボタンをクリックすることにより、ルーターに設定が保存されます。

8-3-11. Gen4848-AES: ラベルタグ: Source Label Abbreviations

Source Label Abbreviations をクリックするとソース簡略ラベル名の設定画面が表示されます。

= <b>9</b> en					Â
	ステータス 入力ステータス	クロスポイント	一般 —	ラベル インヒビット	サルボ し
	gen4848-AES-layer1				
	<b>9</b> 保存				
	- Source Labels				
	<ul> <li>Source Label Abbreviations</li> </ul>				
	Source1			<u>A48-1</u>	
	Source2			AES02	
	Source3			AES03	
	Source4			AES04	
	Source5			AES05	
	Source6			AES06	
	Source7			AES07	
	Source8			AES08	
	Source9			AES09	

ソース簡略ラベル設定画面





ここで、設定した簡略ラベル名は、DualJogの詳細ラベル表示モード以外で使用されます。使用できる文字は半角英数字のみです。設定変更後、保存ボタンをクリックすることにより、ルーターに設定が保存されます。

8-3-12. Gen4848-AES: ラベルタグ: Destination Label Abbreviations

Destination Label Abbreviations をクリックするとデスティネーション簡略ラベル名の設定画面が表示されます。

= 9e	า						沟
	ステータス	入力ステータス	クロスポイント	一般		サルボ	L
	S gen48	148-AES-layer1					
	<b>分</b> 保存						
	✓ Sour	ce Labels					
	👻 Desti	nation Labels					
	✓ Sour	ce Label Abbreviations					
		nation Label Abbreviation					
	t.	estination1			DST01		
		estination2			DST02		
	t	estination3			DST03		
	ſ	estination4			DST04		
	ſ	estination5			DST05		
	c	estination6			DST06		
	ſ	estination7			DST07		
	ſ	vestination8			DST08		

デスティネーション簡略ラベル設定画面

ここで、設定した簡略ラベル名は、DualJogの詳細ラベル表示モード以外で使用されます。使用できる文字は半角英数字のみです。設定変更後、保存ボタンをクリックすることにより、ルーターに設定が保存されます。

8 – 3 – 1 3. Gen4848-AES: インヒビットタブ

インヒビットタブをクリックすると、以下のタブが表示されます。

= <b>9</b> e	n																					Â
		72	-7,	77	7.	-91	20.	2/1/1			- <u>*</u>	2		-VIL						1011		
	\$	ge	m4848	layer1																		
				6																		
				1 64	兼仔						× w	יאני	/									
	Sec		2	4	5	6	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21		
	2																					
	4																					
	5																					
	6																					
	8																					
	9																					
	10																					
	12																					
	13																					

インヒビット設定画面前半





上下、左右のスクロールバーを動かすことにより、ソース1~48および、テストトーン(オシレータ)出力、デスティネーション1~48の設定ができ

ます。



#### インヒビット設定画面後半

インヒビット(設定禁止)するクロスポイントをクリックすることにより、インヒビットを設定し、再度クリックすることによりインヒビット設定を解除できます。取り消しボタンをクリックすると、保存前の設定状態に戻ります。設定変更後、保存ボタンをクリックすることにより、ルーターに設定が保存されます。



#### インヒビット設定例





8 – 3 – 1 4 . Gen4848-AES : サルボタブ

サルボタブをクリックすると、以下のタブが表示されます。

= 9er	n								沟
		ステータス 追 S	入力ステータス 加または剤除するサルボ alvo	クロスポイント	一般 <b>今</b> 追加	JAN G	インヒビット 削除		
	\$	Salvo01						~	

#### サルボ設定画面

初期設定では、Salvo01という単位行列のサルボが登録されています。新しいサルボを登録するときは追加または削除するサルボにサルボ名を 入力後、追加ボタン、又は、削除ボタンを押してください。登録されているサルボの設定変更をする場合には、サルボ名をクリックしてください。



サルボ設定画面前半





上下、左右のスクロールバーを動かすことにより、ソース 1~64 および、カラーバー、マルチビューワ出力、デスティネーション 1~64 の設定ができ

ます。



#### サルボ設定画面後半

同時に切り替えるクロスポイントをクリックすることにより、サルボ設定し、再度クリックすることによりサルボ設定を解除できます。取り消しボタンをク リックすると、保存前の設定状態に戻ります。設定変更後、保存ボタンをクリックすることにより、ルーターに設定が保存されます。 サルボの追加ボタンを押すと、異なるレイヤーや、異なるルータを追加設定することができます。削除ボタンを押すと最後に追加したレイヤーが削 除されます。

ルーターサルボを変更すると、接続済みのコントロールパネルは新しいサルボ情報をリロード後プログラムの再起動を行います。

8-3-15. Gen4848-AES:レート変換

レート変換タブをクリックすると、以下のタブが表示されます。

≡	<b>Yen</b>								Â
		、カステータス	クロスポイント	一般		インヒビット	サルボ	製品	
			分保存		<b>X</b> B	り消し			
			ソース番目	こ レート変	わ		^		
			-		~				
			1						
			2						
			3						
			5						
			6						
			7						
			8						
			9						
			10						
			11						
			12						
			13						
			14						
			15						
			16						
			1/						
			18						
			20						





#### レート変換タブ画面

レート変換を行うソース番号をクリックすることによりレート変換を有効、無効に設定できます。チェックマークが入っているソースがレート変換有効 で、チェックマークの入っていないソースはレート変換が無効に設定されています。取り消しボタンをクリックすると、保存前の設定状態に戻ります。 設定変更後、保存ボタンをクリックすることにより、ルーターに設定が保存されます。

#### 8-3-16. Gen4848-AES: 製品情報タブ

製品情報タブをクリックすると、以下のタブが表示されます。

= <b>9</b> e	n								Â
	ータス	クロスポイント	一般	ラベル	インヒビット	サルボ	レート変換	製品情報	
	製品情報								
	製品名								
	Gen4848-AE	S							
	シリアル番号								
	9180-12-01								
	10								
	ハージョン	2							
	ハードウェア								
	0.10.6								
	ファームウェア								
	1.0.1								

製品情報タブ

8-3-17. Gen4848-AES: 製品情報タブ: 製品名 製品名が表示されます。

8-3-18. Gen4848-AES: 製品情報タブ: シリアル番号 製品シリアル番号が表示されます。

8-3-19. Gen4848-AES: 製品情報タブ: バージョン ハードウェア ハードウェアバージョンが表示されます。

8-3-20. Gen4848-AES:製品情報タブ:バージョン ファームウェア ファームウェアバージョンが表示されます。





#### 8-4. DualJogの設定

DualJog をクリックするとコントロールパネルの設定ページが表示されます。

(2) 一般 接続先 ボタン サルボ 製品情報	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
コントロールパネル名称 DualJog	
<del>ティ</del> クモード <u>№ ▼</u>	

DualJog トップページ (DualJog 一般タブ)

(2)の部分に設定項目ごとのタブが表示され、タブを選択することにより各種設定を行います。

8-4-1. DualJog: 一般タブ: コントロールパネル名称

ユーザーが変更可能なコントロールパネル名称が表示されます。対応文字列は英数字のみです。設定変更後、保存ボタンをクリックすることに より、コントロールパネルに設定保存されます。本設定反映のため、コントロールパネルのプログラムは再起動されます。

8-4-2. DualJog: 一般タブ: テイクモード

テイクモードの設定をします。Yesを選択するとルータのクロスポイント設定変更後、TAKEボタンを押すことによりクロスポイントの切り替えを行います。複数のクロスポイント設定変更し、まとめて切り替えることができます。Noを選択するとルータのクロスポイント設定変更した時点でクロスポイントの切り替えを行います。設定変更後、保存ボタンをクリックすることにより、コントロールパネルに設定が保存されます。本設定反映のため、コントロールパネルのプログラムは再起動されます。





8 – 4 – 3. DualJog: 接続先タブ

接続先タブをクリックすると、以下のタブが表示されます。

接続先タブにある項目を変更すると、コントロールパネルのプログラムは再起動されます。

= 9en	Â
絵 <u>接続先</u> ボタン サルボ 製品情報 	
<u>削除するルーター</u> → 分 耐除 Gen6464-30: 192.168.0.30 ×	

DualJog 接続先タブ

追加するルーター選択し、追加ボタンを押すとルーターが追加され、削除するルーターを選択し、削除ボタンを押すとルーターが削除されます。 追加したルーターをクリックするとルーターの詳細設定画面が表示されます。

= <b>9</b> en						ネ
Gen6464-3G: 192.168						
プロトコル						
CEBUS	<u> </u>	<b>€</b> 保存	+ LTt	?- 🗶取	の消し	
Gen6464	3G-layer1		▶ 削除			
ソース番号	インヒビット		デスト番号	インヒビット		
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16		-			-	
					and the second sec	

DualJog ルータ詳細設定画面

8 – 4 – 4. DualJog: 接続先タブ: プロトコル

接続先ルーターとのプロトコルを指定します。Gen ルーターのプロトコル CEBUS、ソニーのプロトコル NS-BUS、 VikinX のプロトコル NMRP が 選択できます。本バージョンでは CEBUS のみ正しく動作しますので、 CEBUS から変更しないでください。





#### 8-4-5. DualJog: 接続先タグ: インヒビット

レイヤーを選択し、ソース、デスティネーションに対して本コントロールパネルからの操作をインヒビット(禁止)設定することができます。



インヒビット設定画面

インヒビットに設定する、ソース番号、デスティネーション番号をクリックし、インヒビット設定にし、再度クリックすることによりインヒビット設定を解 除できます。取り消しボタンをクリックすると、保存前の設定状態に戻ります。設定変更後、保存ボタンをクリックすることにより、コントロールパネル に設定が保存されます。保存後、コントロールパネルのプログラムは再起動されます。

8 – 4 – 6. DualJog: ボタンタブ

ボタンタブをクリックすると、以下のタブが表示されます。

ボタンタブにある項目を変更すると、コントロールパネルのプログラムは再起動されます。



#### DualJog ボタンタブ

現在のページにコントロールパネルの現在のページ番号が表示されます。まず、最大ページ数に本コントロールパネルで使用するページ数を選択 します。1~32 ページ設定できます。次に編集中のページに、設定するページを選択し、各ボタンの設定をページごとに行います。取り消しボタ ンをクリックすると、保存前の設定状態に戻ります。設定変更後、保存ボタンをクリックすることにより、コントロールパネルに設定が保存されます。





#### 8 – 4 – 7. DualJog:ボタンタグ: A1~A4

それぞれのボタンの位置は、ボタンタブの DualJog 写真に図示されており、このボタンに対して機能を割り当てます。設定できる機能一覧を以下に示します。それぞれのボタンは、色で点灯色を Green、Red、Amber、Blue から選択し、弱点灯時の明るさを Normal、Dark から選択します。 強点灯時の明るさはスライダーバーで調整します。

機能	内容
NONE	割り当て機能なし
NUMBER	ソース番号、又は、デスティネーション番号を指定。
SRC	NUMBER で設定されたボタンをソースに割り当てます。
SRC N	ソース番号を指定。
DEST	NUMBER で設定されたボタンをデスティネーションに割り当てます。
DEST N	デスティネーション番号を指定。
BUS	指定デスティネーションに指定ソースを割り当てます。ルーターID、レイヤーID、ソース番号、
	デスティネーション番号を設定します。
CLEAR	操作をクリアします。全操作をクリア(ALL)するか、現在表示しているコマンドをクリアす
	るか(CURRENT)定します。
ТАКЕ	クロスポイントを切り替えます。テイクモード時に有効となり、テイクモードオフ時にはクロ
	スポイントを切り替えるごとに強点灯後、自動で弱点灯になります。
TAKE MODE SWITCH	押す度にテイクモードをオン、オフします。テイクモード時は強点灯します。
	コントロールパネル起動時は、一般タブの「テイクモード」の設定となります。
PANEL LOCK	押す度にパネルロック状態と通常状態を切り替えます。パネルロック状態では、強点灯します。
DEST LOCK	押す度にデスティネーションロック状態と通常状態を切り替えます。デスティネーションロッ
	ク状態では、強点灯します。本コントロールパネルで現在選択しているデスティネーションを
	本コントロールパネルからの操作をロックする LOCK_LOCAL、本コントロールパネルで現在
	選択しているデスティネーションを他のコントロールパネルからの操作をロックする
	LOCK_OTHER、本コントロールパネルで現在選択しているデスティネーションを全コントロ
	ールパネルからの操作をロックする LOCK_ALL を設定します。
DEST LOCK N	押す度に指定したデスティネーション番号をロック状態と通常状態を切り替えます。デスティ
	ネーションロック状態では、強点灯します。ルーターID、レイヤーID、ロックモード、デステ
	ィネーション番号を設定します。
CP SALVO	指定したコンパネサルボを実行します。登録されているサルボ名を設定します。
ROUTER SALVO	指定したルーターサルボを実行します。ルーターID、登録されているサルボ名を設定します。
PAGE	ページを変更します。UP、DOWN、JUMPのいずれかを選択し、JUMPの時は、ジャンプする
	ページを設定します。
DISP MODE	押す度に表示モードを切り替えます。UP、DOWN、JUMP のいずれかを選択し、JUMP の時は、
	ジャンプする表示モードを設定します。





8 – 4 – 8. DualJog:ボタンタグ: F1~F6

F1~F6 ボタンに対して機能を割り当てます。

= <b>9</b> en								沟
	F1	機能 PANEL LOCK ·	<u> </u>	弱点灯時の明るさ Normal	-	強点灯時の明るさ		
	F2	機能 TAKE MODE SW 小	<b>-</b>	築点灯時の明るさ Normal	<u>•</u> .	発点灯時の明るさ	•	
	F3	継ぎ PAGE ・ サブコマンド UP ・	<u>-</u> -	竊点灯時の明るさ Normal	<u>•</u>	発点灯時の明るさ 	•—	
	F4	機能 DEST LOCK ・ サブコマンド LOCK_OTHER ・	<u>•</u>	翳点打時の明るさ Normal	•	強点灯時の明るさ 	•—	
	F5	機能 DISP MODE ・ サブコマンド UP ・	×.	弱点灯時の明るさ Normal	<u>•</u>	強点灯時の明るさ 	•——	
	F6	機能 NONE ·	•	弱点灯時の明るさ Normal	<u> </u>	強点灯時の明るさ	•	

F1~F6 ボタン設定画面

設定できる機能は、A1~A4ボタンと同じです。弱点灯時の明るさを Normal、Dark から選択し、強点灯時の明るさはスライダーバーで調整します。





8 - 5. ルーター/コントロールのネットワーク設定
 現在、ネットワーク設定は WEB からの制御に対応していないため、ssh で該当機器にログインして設定の変更をお願いします。
 ルーターの IP アドレスを変更した場合、コントロールパネルの8 - 4 - 3. DualJog: 接続先タブの設定に従って、接続先のルーターIP
 を変更してください。

ルーターの MG LAN IP: 192.168.1.82 ルーターの MG LAN デフォルトネットマスク: 255.255.255.0 ルーターの MG LAN デフォルトゲートウェイ: 192.168.1.1

- ルーターの CP LAN IP: 192.168.0.30 ルーターの CP LAN デフォルトネットマスク: 255.255.255.0
- ルーターの CP LAN デフォルトゲートウェイ: 192.168.1.82

アカウント: admin

パスワード: gen-admin-2021

ssh の接続方法は、windows powershell などのターミナルソフト/環境を使用してください。

windows powershell を利用する場合、Windows MENU 画面で powershell と打つことで起動することができます。

すべて アプリ ドキュメント ウェブ その 	の他 🔻	R
最も一致する検索結果		
Windows PowerShell		2
アプリ		Windows PowerShell
Windows PowerShell ISE	>	<u></u>
2 Windows PowerShell (x86)	>	
Windows PowerShell ISE (x86)	>	□ 開く
Debuggable Package Manager	>	22 管理者として実行する
Web の検索		🔚 ISE を管理者として実行する
✓ powershell - Web 結果を見る	>	Windows PowerShell ISE
設定		
₩ PowerShell の開発者向け設定	>	
第 署名なしでローカル PowerShell スクリプトを実行できるようにする	>	
<ul> <li>Win + X メニューではコマンド ブロンブトを Windows PowerShell に置き換える</li> </ul>	>	
∽ powershell		

#### ログイン方法

ssh <u>admin@192.168.1.82</u> <u>admin@192.168.1.82's</u> password: gen-admin-2021

パスワードは「gen-admin-2021」とタイプしてください。'-'はハイフンです。





8-5-1. ルーターのネットワーク変更

## ルーターの場合、MG LAN、CP LAN の両方にネットワークケーブルを、コントロールパネルの場合、POE ハブあるいは Gen ルータ ーにケーブルを接続してつないでネットワークがリンクする状態にしてください。

IPの設定変更は connmanctl というプログラムを利用します。

"connmanctl services"とタイプすると、リンクしている Ethernet が検出されます。

connmanctl services	
*AR Wired	ethernet_000dc74601d0_cable
*AR Wired	ethernet_000dc74601d1_cable

番号の末尾が偶数の ethernet\_000dc74601d0\_cable が CP LAN、番号の末尾が奇数の ethernet\_000dc74601d1\_cable が MG LAN になります。 000dc74601d0 は MAC アドレスを意味し、 一般的には 00:0d:c7:46:01:d0 と記述されます。

connmanctl config <<mark>インターフェース名> --ipv4 manual <新しい IP> <ネットマスク> <デフォルトゲート</mark> ウェイ>

※--ipv4: ipv4 の前はハイフン 2 個です。

インターフェース名は connmanctl services で出力される\*AR Wired に続く文字列です。上の例では、 ethernet 000dc74601d0 cable、ethernet 000dc74601d1 cableの2つのインターフェースが該当します。

MG LAN の IP を 192.168.2.10、ネットマスク 255.255.255.0、デフォルトゲートウェイが 192.168.2.1 の場合、以下のように設定 してください。 DHCP には対応していませんので注意してください。

connmanctl config ethernet\_000dc74601d1\_cable --ipv4 manual 192.168.2.10 255.255.255.0
192.168.2.1

同様に CP LAN を 192.168.0.31、ネットマスク 255.255.0 デフォルトゲートウェイ 192.168.2.10 にする場合

connmanctl config ethernet\_000dc74601d0\_cable --ipv4 manual 192.168.0.31 255.255.255.0
192.168.2.10

設定を有効にするためには、リブートしてください。

/sbin/reboot

リブート後は新しく設定した IP で MG LAN に接続が可能です。

ssh <u>admin@192.168.2.10</u>





8-5-2. コントロールパネルのネットワーク変更

コントロールパネルデフォルト IP: 192.168.0.40 デフォルトネットマスク: 255.255.255.0 デフォルトゲートウェイ: 192.168.0.30 アカウント: admin パスワード: gen-admin-2021

ssh 接続しようとする PC がコントロールパネルと同じサブネット内にいる場合は、コントロールパネルの前面の MT-LAN に LAN ケーブルを 接続してログインしてください。

ssh admin@192.168.0.40
admin@192.168.0.40's password: gen-admin-2021

MG-LAN 経由で接続する場合は、一度、MG LAN に接続してから、CP LAN 経由でログインしてください

ssh admin@192.168.1.82
admin@192.168.1.82's password: gen-admin-2021
ssh admin@192.168.0.40
admin@192.168.0.40's password: gen-admin-2021

ルーターのときと同じように、インターフェースの確認をしてください。

connmanctl services	
*AR Wired	ethernet_000dc7001301_cable

設定変更方法はルーターと同じです。サブネット内でアドレスが重複しないように設定してください。





8 – 5 – 3. NTP の設定 NTP の設定は chrony を利用しています。 設定ファイルは /etc/chrony.conf です。

- 1) server キーは接続する NTP サーバーを記述します。 複数のサーバーを設定したい場合、コントロールパネルのように行ごとに NTP サーバ -IP を列挙してください。 "server <IP 名> iburst minpoll 4 maxpoll 8"となるようにしてください。
- 2) port キーは NTP サーバーとして起動する場合、NTP クライアントが利用するポート番号を設定してください。通常 123 を利用します。
- 3) allow は NTP クライアントが許可するネットワーク範囲を記述してください。

#### ルーターの/etc/chrony.conf 例

# NTP client Setting
server 192.168.1.10 iburst minpoll 4 maxpoll 8
stratumweight 0
# NTP Server Setting
local stratum 10
port 123
allow all 192.168.0
# Common setting
makestep 1.0 3
driftfile /var/lib/chrony/drift
rtcsync
logdir /var/log/chrony

例は 192.168.1.10 に接続する例です。





#### コントロールパネルの/etc/chrony.conf 例

# NTP Client Setting server 192.168.0.30 iburst minpoll 4 maxpoll 8 server 192.168.0.31 iburst minpoll 4 maxpoll 8 stratumweight 0 # NTP Server Setting # local stratum 10 # port 123 # allow all 192.168.0 # common setting makestep 1.0 3 driftfile /var/lib/chrony/drift rtcsync logdir /var/log/chrony0 # port 123 # allow all 192.168.0 # common setting makestep 1.0 3 driftfile /var/lib/chrony/drift rtcsync logdir /var/log/chrony 例は、192.1.68.0.30、192.168.0.31 の 2 台の NTP サーバーを利用する例です。

NTP クライアントとして起動するので、port, allow の項目はコメントアウトしてください。

NTP に同期しているかどうかは、timedatectl コマンドで確認することができます。

Local time: Tue 2021-01-26 17:08:20 JST					
Universal time: Tue 2021-01-26 08:08:20 UTC					
RTC time: Tue 2021-01-26 08:08:21					
Time zone: Asia/Tokyo (JST, +0900)					
System clock synchronized: yes					
systemd-timesyncd.service active: no					
RTC in local TZ: no					

System clock synchronized: yes になっていれば、NTP サーバーに同期しています。





## 9. コネクタ ピンアサイン表

9-1. GPIO1/RS-232C コネクタ(16)

Dsub9 ピン(メス)勘合台インチ

1	GPIO1-1/12V OUT	4	GPIO1-4	7	GPIO1-7
2	GPIO1-2/RS-232C-TX	5	GND	8	ALM OUT
3	GPIO1-3/RS-232C-RX	6	GPIO1-6	9	ALM COM

1~4、6、7 ピンは、設定により GPI、GPO、12V OUT、RS-232C-TX/RX に切り替えることができます。

GPI1-1~1-7	3.3V ロジック入力(接点入力対応、負論理)
GP01-1~1-7	オープンコレクタ出力 24V/30mA max (負論理)
GND	本体内部の基板 GND に接続
ALM OUT,ALM COM	接点出力。アラーム出力時 ALM OUT=ALM COM となります。

#### 9-2. GPIO2 コネクタ(17)

Dsub15ピン(メス)勘合台ミリ

1	GPIO2-1	6	GPIO2-6	11	GPO2-11
2	GPIO2-2	7	GPIO2-7	12	GPO2-12
3	GPIO2-3	8	GPIO2-8	13	GPO2-13
4	GPIO2-4	9	GPO2-9	14	GPO2-14
5	GPIO2-5	10	GPO2-10	15	GND

1~8 ピンは、設定により GPI、GPO に切り替えることができます。 9~14 ピンは GPO 固定です。

GPI2-1~2-8 3.3V ロジック入力(接点入力対応、負論理)

GPO2-1~2-14 オープンコレクタ出力 24V/30mA max (負論理)

GND 本体内部の基板 GND に接続





## 10. 定格および電気的特性

AES/EBU 入力	対応フォーマット	AES/EBU AES-3id				
		サンプリング周波数 32k~96kHz、分解能 24 ビット				
	コネクタ	BNC×48				
	入力レベル、インピーダンス	1.0 Vp-p 75 Ω				
AES/EBU 出力	コネクタ	BNC×48				
	出力レベル、インピーダンス	1.0 Vp-p 75 Ω				
リファレンス入力	コネクタ	BNC×2(ループスルー含む)				
	入力信号、インピーダンス	BBS/3 値シンク 75Ω				
イーサネット	コネクタ	RJ-45×4 (コントロールパネル接続用×3, マネージメント用×1)				
	対応レート	10/100/1000 Mbps				
GPIO/RS-232C	コネクタ	DSUB9 メス(インチ)x1(GPIO,RS-232C 兼用)				
		DSUB15 メス(ミリ)x1(GPIO)				
動作環境	0℃~40℃ 20%~85%(結露なきこと)					
電源	AC100V~240V±10%(AC90~264V) 50/60Hz ×2					
消費電力	40W					
外形寸法	W482 × H132 × D330 (突起部を除く)					
質量	7.3 kg (Gen4848-AES 6.4kg、DualJog 0.9kg)					





## 11. 外観図



#### 12. お問い合わせ

株式会社 コスミックエンジニアリング

Address: 〒191-0065 東京都日野市旭が丘 3-2-11

TEL: 042-586-2933 (代表)

042-586-2650 (SI 部)

FAX: 042-584-0314

URL: https://www.cosmic-eng.co.jp/

E-Mail:c1000@cosmic-eng.co.jp